

2024年4月5日

国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館特別展のお知らせ

日頃よりお世話になりありがとうございます。湯浅八郎記念館では、この度以下の通り特別展「江戸時代の粧よそおい」および関連するオンライン公開講座「江戸の衣装革命」を開催いたします。

江戸時代の化粧は白粉おしろいの「白」、唇に引いた「紅」、そして黒髪やお歯黒の「黒」に象徴されると言われ、本展示では、その化粧を施すために使われた道具類や調度を当館コレクションから約148点選び展示いたします。湯浅八郎博士は生前、多くの民芸コレクションを収集し当館に寄贈されましたが、その中には江戸から明治にかけて使用された整髪油を入れる小さな油壺あぶらつぼ、銅製の柄鏡えかがみ、櫛くしや笄こうがいなど、粧よそおいの道具も含まれています。今回の特別展ではそれらに加え、今では珍しくなったお歯黒道具、髪結かみむすいが携える道具箱びんだらいの鬢はな盤ばん、紅化粧を施すための筆や紅入れ、化粧道具を収納するための鏡台や手箱を展示いたします。庶民が日常生活で使用したシンプルな黒塗りのものから婚礼調度として詠えいえた豪華な蒔絵の鏡台や化粧道具一式を通して、江戸時代の化粧文化の一端をご紹介できれば幸いです。

つきましては、ご案内にお力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。

展覧会名：「江戸時代の粧よそおい」 Edo Period Cosmetic Utensils
会場：湯浅八郎記念館2階特別展示室
会期：2024年4月9日（火）～7月4日（木）
毎週火曜日～木曜日、第3土曜日（4/20、5/18、6/15）および7/20（土）
開館時間：13:00～17:00（7/20のみ11:00～16:00）
休館日：金曜日～月曜日および祝日
入館料：無料
交通：JR 中央線三鷹駅および武蔵境駅より小田急バス「国際基督教大学行」終点下車または武蔵境駅南口よりタクシー10分

関連イベント：第121回公開講座（オンライン）「江戸の衣装革命」
2024年5月11日（土）14:00～15:30
講師：椿田有希子氏（本学教養学部 アーツ・サイエンス学科 助教）
モデレーター：ロバート・エスキルドセン（当館館長）
聴講無料・要予約/ZOOM ウェビナーにて、湯浅八郎記念館エントランスホールからライブ配信

主な展示資料：お歯黒に関する資料： お歯黒壺みみだらい・耳ふし盤ぼ・五倍子箱かねつぎ・鉄漿かねわか坏かし・鉄漿わたしが沸ねし・渡し金（21点）
化粧に関する資料： 鏡台・鏡架・鏡箱・柄鏡・婚礼化粧道具・白粉三段重
紅皿・紅入れ・紅筆らんびき・蘭引き（80点）
結髪に関する資料： 鬢盤はな・油壺・櫛・笄（30点）
関連資料： 化粧を施している女性が描かれた浮世絵など（17点）

総数 148点

お問い合わせ：国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 担当 福野明子
〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2
Tel: 0422-33-3340 / Fax: 0422-33-3485
E-mail: fukuno@icu.ac.jp / museum-office@icu.ac.jp